

「空き」活用とまちづくり ～ 廃校の利活用を考える～

平成22年12月14日(火)

参加費
無料

会場：聖徳大学生涯学習社会貢献センター

千葉県松戸市松戸 1169 Tel:047-365-5691

人のいない校舎ににぎわいを再び。

近年、全国各地に廃校、空き施設、空き店舗、空き地など共有空間の多くに「空き化」が進んでいます。これらは疲弊した地域の象徴として、また、大きな負の遺産として、まちづくりの課題となっています。しかし、一方でこうした「空き施設」を資源として捉え、有効に利用している例も少なくありません。負の遺産を地域の宝に変える。市町村協議会は「空き施設」を積極的に活用すべきだと考えます。新たな先進事例を学び、新たに有効資源を構築するために、情報交換し、研究を進めませんか。今年度、その第1弾として「廃校利用」をテーマにしたフォーラムを開催します。残された校舎、体育館、校庭、その活用方法を探ります。あなたのまちのアイデアをご披露ください。



スケジュール

- 10:00 受付
- 10:30 事前分科会「まちづくり事例研究・自由討論」
- 12:30 受付
- 13:30 **全国生涯学習市町村協議会フォーラム**
開会式
- 14:00 基調提言「地域の活性化と廃校の効果的な活用について」
～「みんなの廃校プロジェクト」と市民活動の対応～
文部科学省施設部施設助成課 課長補佐 杉浦健太郎氏
福留 強氏（聖徳大学・生涯学習研究所長）
- 15:10 事例研究「わがまちの廃校活用に関する現状と課題」
栃木県矢板市 「郷土資料室に蘇る」
和歌山県田辺市 「産業の振興」 他
コーディネーター 清水英男氏（聖徳大学教授）
- 16:30 閉会
- 17:00 **交流会**（仕掛け人・交流会議）
懇親会参加費；5,000円

主催 全国生涯学習市町村協議会

共催 聖徳大学生涯学習研究所

特定非営利活動法人全国生涯学習まちづくり協会 社会教育施設の活性化研究会

後援 文部科学省 財団法人地域活性化センター 交渉中を含む

